

「産業」と「環境」と「暮らし」が調和するまちを日本全国へ。



GREEN CROSS PARK 本格始動

All Image Photo

円安の進行や地政学的リスクの高まりを背景に、近年の産業界では生産拠点の国内回帰やサプライチェーンの強靱化が喫緊の課題となっている。また、2050年のカーボンニュートラルに向けた要求はますます高度化しており、脱炭素や情報開示といった環境対応は企業価値を左右する要素の一つと目されるようになった。一方で、工場立地においては、労働人口の減少や気候変動による相次ぐ災害の対策が急務となっている。「GREEN CROSS PARK」は、これらの課題に対する総合的なソリューションをもたらす新しい発想の産業まちづくり事業だ。永きにわたり都市の発展に寄与してきたまちづくりのDNA。そして、世の中に先んじて再生可能エネルギーの開発などに取り組んできた環境先進企業としての知見。単

産業の国内回帰

- エネルギーの安定供給
- 経済成長
- 脱炭素社会の構築
- 産業団地で雇用創出

- 1 バンデミック（感染症リスク）
- 2 戦争・地政学リスク（国際情勢の不安定化）
- 3 自然災害・気候変動（環境リスク）
- 4 円安・資源価格の高騰（経済変動）
- 5 地域の過疎化・高齢化（働き手は都心へ流出）

変化する世界、問われる産業界の選択。



GX×DX×まちづくりで実現する、産業団地の次世代型モデル。

グループの総合力と多様なリソースを生かした、新発想の産業まちづくり事業。

多様な価値が、クロスする未来。



「GREEN CROSS PARK（以下GXP）」は、東急不動産の産業まちづくり事業を総称するブランド名だ。すでに全国各地で進んでいるプロジェクトでは、各自自治体との連携を通じて地域の課題や強みを掘り下げ、それぞれに特色あるオーダーメイドの開発を行っている。

官と民、産業団地とまちづくりがクロスするGXPには、この他にも様々な価値が、クロスする未来。

にも様々な概念がクロスしている。一つは、化石燃料からの脱却に向け、クリーンエネルギーの安定供給・経済成長・CO₂排出削減の同時実現を目指すグリーン・トランスフォーメーション（以下GX）。経済産業省が主導するGXは、環境負荷の低減のみならず、ブランド価値向上の観点からも企業が注目すべきキーワード。GXPでは、東急不動産グループが誇る約2,500MWの再エネ保有電源（2030年度には4GWに拡大予定）を生かし、物流施設や工場・ラボ・データセンターまで、進出企業の脱炭素化を力強くサポートする。

デジタルトランスフォーメーション（DX）も、GXPに不可欠な要素の一つだ。例えば、高速道路ICに近接する立地は、高速道路における自動運転の早期実装を見込んだもの。将来的には、団地内の物流自動化に加え、全国物流拠点と自動運転トラックによってネットワーク化することで、組みも検討中だ。

GXPが目指す、6つのビジョン。未来へ先駆けるGXPの眼差しは、進出企業や地球環境はもちろん、地域社会や人々の暮らしにも向けられている。企業のBCPを支え、発災時には地域の拠り所となる防災機能。進出企業間の連携や地元の

企業・人材との出会いを促す交流施設。職住近接を支える様々な暮らしの機能。愛着と誇りを育むまちのシンボル。東急不動産のインフラ・インダストリー事業に、住宅事業と都市事業、さらにはウェルネス事業の提供価値をプラスした産業まちづくりが、全国各地の産業振興と地域共創を後押しする。

九州・鳥栖で開発が進む、GXP第1号プロジェクト。



自動運転トラックや工場自動化に対応した次世代型・再エネ100%の産業団地。

東急不動産の未来への想いが詰まったGXP。その第1号となる産業まちづくりが、佐賀県鳥栖市で進行している。このプロジェクトは、近年の地域課題である産業用地不足の解消に向けた、佐賀県・鳥栖市、九州大学都市研究センターとの産学官連携事業。計画では、団地全体を自動運転トラックに対応した拠点として整備し、製造業を中心とした企業の誘致を図る。さらに、最先端の物流施設と合わせて、進出企業間及び住民同士の交流を促すコミュニティスペースを整備。周辺の公共施設との連携も視野に、多様な共創を通じて持続的な発展を目指している。

第1回 Next-Generation Logistics EXPO in Kyushu, Japan

九州 次世代物流展

2025年10月8日（水）～10月9日（木）に、マリンメッセ福岡A・B館で開催される「第1回[九州]次世代物流展」「第2回[九州]半導体産業展」に出展<出典ブース位置> マリンメッセ福岡（A館）：東急不動産出展ブース『A4-36』

第2回 Semiconductor Technology Expo in Kyushu, Japan

九州 半導体産業展

2025年10月8日（水）～10月9日（木）に、マリンメッセ福岡A・B館で開催される「第1回[九州]次世代物流展」「第2回[九州]半導体産業展」に出展<出典ブース位置> マリンメッセ福岡（B館）：東急不動産出展ブース『B4-36』

+Green,+City.

東急不動産が思い描く、GREEN CROSS PARKの未来図。

物流施設（LOGI'Q）

環境にも人にも優しい最先端の物流施設を提供。人手不足や環境変化など、様々な社会課題に対応するインフラを全国へ。

工場・ラボ

製造業の国内回帰の受け皿となる工場・ラボの用地を提供。各企業のニーズに対応するBTS型の施設開発も検討中。

データセンター

国内初となる再エネ100%のデータセンターを計画する知見を活かし、GXとDXを同時に実現するデータセンターを提供。

すまい

これまでの常識にはなかった、快適な住まいと暮らしを産業団地へ。

再エネ施設（ReENE）

日本のエネルギー問題に取り組むリーディングカンパニーとしての技術と知見を生かし、団地内の脱炭素化を推進。

植物工場

気候変動に強く、安定した品質、生産量を実現。

暮らしを豊かにする地域交流拠点

地域の特色や課題に合わせてエリアの魅力を最大限引き出す。

イメージイラスト

GXP hub 会員 募集中

「GREEN CROSS PARK」では、今後の開発情報や業界トレンドなど、工場移転をお考えの方々に役立つ最新ニュースをお届けする、会員向け情報サービスを開始予定です。

公式ティザーサイトは
右記QRコードへ

ただし、公式ティザーサイトを公開中です。



東急不動産

東急不動産 インダストリー事業本部
TEL.0120-066-109 営業時間/9:30～18:00（土日祝除く）